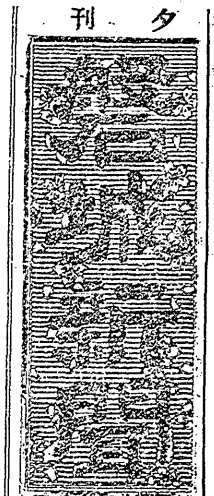
夕刊



五月六日發行

東京振替貯金口座一八〇五六五番
日曜祭日休刊
日曜祭日發行
定價 月金六拾錢 日金五錢
廣告料 金六拾錢 紙代共
宮城新聞社
仙台市大町二丁目
電話 四五番
宮城新聞社
仙台市大町二丁目
電話 四五番
宮城新聞社
仙台市大町二丁目
電話 四五番

月曜論壇

市圖書館を起せ

圖書記錄を蒐集保管して公衆の閲覽に供し、普く國民の教養と學術の研究に資して人類文化の向上に寄與する教育機關としての圖書館は、如上の目的以外に社會教育の上よりすれば娯樂慰安の供給所であり品性陶冶の道場であり更に學校教育の角度から觀れば兒童生徒の自學自習の補導機關であり、殊に大學教育に在つては圖書館がその心臓と稱せられる程の重要性を帶ぶるに至つた今日、小さい乍らも地方の中樞都市たる我が平市に之を必要とするは云ふ迄も無く、之が實現は、昨日曜朝行はれた下野の足利學校と共に鎌倉時代に於ける代表的文庫金澤文庫（武州久良岐郡金澤郷所在）に關するラヂオ放送乃至東京駿河台なる西園寺本邸藏書數萬卷の中央大學移管話などを聞くにつけ一入その意慾を唆らるゝものがある。惟うに當今の平市は縣立工業學校の新設その他教育方面の整備擴充上緊急を要するもの蓋し一二にして止らず、人によつては或は難肋的存在と誣ひぬ迄も時を辨ぜざる望蜀の希望として之を斥くる無きや未だ以て測り知るべからずとするも、平市に於ける當面の圖書館計劃は他の大事業と異り、多數市民の間に埋もれる死藏書籍の提供或は篤志家の資金寄附に俟ち、差當り市公會堂の一部でも利用する事にせばその實現極めて易々たるものあるを信じて疑は無し。而して先年の國本泡沫時代に於ける購入本にして所有者中未だ頁を操らざるもの幾干ぞや、之等が悉くその利用價値を念ひ恬淡として之を提供するに於ては何々全集等の蒐集は立ち處に行はれ、當面の機構を備へ得るは恐らく朝飯前の事であらう。最初から徒に本格の休制を望み罔れ、所謂甲羅に似合つた穴を掘つて漸次機運の熟するを待たば、近き將來に於ける平圖書館の完成は掌を玉章頂き厚く御禮申上げまして居ります。

銃後皆々様の變りなき御ヶ年を過して居りますが、

中小商工業者 轉職更生案採擇

議長會議に市から提案

野崎蓮沼正副議長盛岡から歸る

山市附近、福島市附近

△帰途より。前記炭坑節の外相馬流れ山、二遍返し、陣貝陣太鼓

。。。